

2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月9日

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東
 コード番号 3903 URL http:// gu3. co. jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川本 寛之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 本吉 誠 (TEL) 03(5358)5322
 定時株主総会開催予定日 2020年7月28日 配当支払開始予定日 2020年7月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期の連結業績 (2019年5月1日~2020年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	19,827	△6.7	2,225	—	2,124	—	1,757	—
2019年4月期	21,257	△21.6	△1,430	—	△1,661	—	△1,695	—

(注) 包括利益 2020年4月期 1,321百万円 (—%) 2019年4月期 △1,778百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	58.32	57.66	13.1	10.3	11.2
2019年4月期	△57.04	—	△12.9	△7.5	△6.7

(参考) 持分法投資損益 2020年4月期 △193百万円 2019年4月期 △490百万円

(注) 1. 2019年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	20,006	15,169	71.1	470.93
2019年4月期	21,148	13,593	59.2	416.04

(参考) 自己資本 2020年4月期 14,217百万円 2019年4月期 12,529百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	2,657	△3,607	△3,037	5,833
2019年4月期	△1,172	△2,255	403	9,898

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2020年4月期	—	0.00	—	5.00	5.00	150	8.6	1.1
2021年4月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 1. 2020年4月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭

2. 2021年4月期の配当額は未定であります。

3. 2021年4月期の連結業績予想 (2020年5月1日~2021年4月30日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年4月期	31,169,400株	2019年4月期	31,096,000株
② 期末自己株式数	2020年4月期	980,000株	2019年4月期	980,000株
③ 期中平均株式数	2020年4月期	30,133,166株	2019年4月期	29,728,191株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年4月期の個別業績（2019年5月1日～2020年4月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	19,823	△6.6	2,062	—	2,051	—	2,407	—
2019年4月期	21,217	△21.7	△1,583	—	△930	—	△1,531	—

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年4月期	79	90	79	00
2019年4月期	△51	51	—	—

(注) 1. 2019年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2020年4月期	20,985	15,156	71.1	494.35		
2019年4月期	20,950	12,897	60.3	419.73		

(参考) 自己資本 2020年4月期 14,924百万円 2019年4月期 12,640百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、事業内容をより適正に表示するため、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「VR/AR事業」を「XR事業（VR、AR、MR等）」に名称変更するとともに、新セグメントとして「ブロックチェーン事業」を新設いたしました。

今後は、「モバイルオンラインゲーム事業」、「XR事業（VR、AR、MR等）」及び「ブロックチェーン事業」の3セグメントにおいて、事業基盤の強化及び収益力の向上に取り組んでまいります。

当連結会計年度の売上高は19,827,695千円（前年同期比6.7%減）、営業利益は2,225,402千円（前年同期は1,430,689千円の営業損失）、経常利益は2,124,637千円（前年同期は1,661,464千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,757,456千円（前年同期は1,695,686千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

なお、前連結会計年度にて重要な後発事象として記載したgumi Europeの事業撤退に伴う費用に関し、子会社整理損として約250,000千円の特別損失を計上する見通しでありましたが、一部費用が減少したこと及び勘定科目の変更があったことから、当該事業撤退に係る当連結会計年度の特別損失計上額は、事業構造改革費用188,250千円として確定いたしました。

当連結会計年度のセグメントごとの状況は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの見直しを行い、ブロックチェーン事業を新設いたしましたため、前年同期比較はセグメント見直し後の体制に組み替えて記載しております。なお、XR事業（VR、AR、MR等）の名称変更が、セグメント情報に与える影響はありません。

（モバイルオンラインゲーム事業）

モバイルオンラインゲーム事業に関しては、株式会社スクウェア・エニックスと共同開発した「WAR OF THE VISIONS ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス 幻影戦争」を当連結会計年度より日本語版・海外言語版共に配信を開始し、売上に大きく寄与いたしました。一方、一部主力タイトルに関し、配信期間の長期化に伴い売上が減少したこと、及び不採算タイトルの早期撤退を行ったこと等に伴い、売上高が減少いたしました。

しかしながら、上記不採算タイトルの早期撤退を含め、スタジオの統廃合等が奏功し開発運用費が減少したこと、及び費用対効果を重視したプロモーションの徹底により広告宣伝費が減少したこと等に伴い、営業利益が大きく増加いたしました。

この結果、売上高は19,718,500千円（前年同期比7.2%減）、営業利益は2,783,045千円（前年同期は851,189千円の営業損失）となりました。

（XR事業（VR、AR、MR等））

XR事業に関しては、将来、市場の急拡大が見込まれるXR市場において早期に優位なポジションを築くことが重要な課題であると考えております。当社グループは、市場の状況に合わせて投資を行っていく方針であり、市場の黎明期においては国内外にて主にファンド出資を通じたXR関連企業の成長支援を実施し、また成長期においてはコンテンツの開発を主体的に取り組み、XR事業の早期の収益化を目指しております。

当連結会計年度においては、当社が配信を行っていた「SWORDS OF GARGANTUA」が売上に寄与いたしました。また、Tokyo XR Startups株式会社等におけるインキュベーションプログラム及び当社グループがジェネラル・パートナーとして参画しているVenture Reality Fundを通じたグローバル投資等を実施し、有力な技術・コンテンツ・人材を有する国内外の有力企業との戦略的な連携を図ってまいりました。

この結果、売上高は44,381千円（前年同期は990千円）、営業損失は402,631千円（前年同期は462,510千円の営業損失）となりました。

（ブロックチェーン事業）

ブロックチェーン事業に関しては、引き続き当該事業を取り巻く法令及び行政の対応等を踏まえつつ、国内外の有力企業への投資を通じ、早期の収益化を目指しております。

当連結会計年度においては、連結子会社である株式会社エイリムと投資先であるdouble jump.tokyo株式会社が共同開発した「ブレイブ フロンティア ヒーローズ」が売上に寄与いたしました。

合わせて、株式会社gumi Cryptosを通じ、新たなテクノロジーを活用する世界各国のブロックチェーン企業に対し、様々な支援を提供いたしました。

この結果、売上高は64,812千円（前年同期はなし）、営業損失は155,011千円（前年同期は116,988千円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は20,006,964千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,141,073千円の減少となりました。流動資産合計は9,624,636千円となり、前連結会計年度末に比べ、4,111,780千円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。固定資産合計は10,382,327千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,970,707千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定及び繰延税金資産の増加によるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は4,837,071千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,717,338千円の減少となりました。流動負債合計は4,278,464千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,928,756千円の減少となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。固定負債合計は558,607千円となり、前連結会計年度末に比べ、788,582千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は15,169,892千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,576,265千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。なお、自己資本比率は71.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末9,898,048千円に比べ4,064,612千円減少し、5,833,436千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,657,936千円(前連結会計年度は1,172,620千円の支出)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益948,783千円、減価償却費443,948千円、投資有価証券評価損399,260千円、消費税の還付251,539千円及び法人税の還付238,977千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は3,607,860千円(前連結会計年度は2,255,148千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出2,912,358千円、その他の関係会社有価証券の取得による支出425,664千円及び投資有価証券の取得による支出351,011千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は3,037,309千円(前連結会計年度は403,215千円の収入)となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出3,247,368千円であります。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
自己資本比率(%)	67.0	65.8	59.4	59.2	71.1
時価ベースの自己資本比率(%)	141.9	156.8	129.0	91.6	102.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	-	10.5	5.0	-	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	-	21.3	38.8	-	129.0

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

5. 2016年4月期及び2019年4月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・

カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期につきましては、モバイルオンラインゲーム事業においては、既存主力タイトルの売上の維持、拡大を図るとともに、高品質な新規タイトルの配信を行うことにより、売上高及び利益の更なる拡大を図ってまいります。

XR事業及びブロックチェーン事業に関しては、市場の拡大に合わせて既存投資先との戦略的提携やコンテンツ開発等を推進し、当該事業領域において優位なポジションを築くとともに、早期の収益化に向け取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症による当連結会計年度の業績への影響は、現時点では大きな影響は出ておらず、今後の影響も限定的と考えておりますが、引き続き今後の動向を注視してまいります。

なお、モバイルオンラインゲーム事業、XR事業及びブロックチェーン事業を取り巻く事業環境の変化が激しく、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であることから、2021年4月期より業績予想を非開示とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきましては、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,898,048	5,833,436
売掛金	1,843,833	2,968,001
前払費用	607,177	413,827
その他の関係会社有価証券	432,380	-
未収入金	197,063	217,368
未収還付法人税等	312,695	38,661
その他	445,218	153,341
流動資産合計	13,736,417	9,624,636
固定資産		
有形固定資産		
建物	339,354	338,099
減価償却累計額	△153,788	△174,482
建物(純額)	185,566	163,616
工具、器具及び備品	318,552	325,200
減価償却累計額	△267,432	△289,529
工具、器具及び備品(純額)	51,119	35,671
有形固定資産合計	236,685	199,287
無形固定資産		
ソフトウェア	10,919	1,307,111
ソフトウェア仮勘定	1,424,173	2,705,946
その他	170,589	122,659
無形固定資産合計	1,605,682	4,135,718
投資その他の資産		
敷金及び保証金	366,933	360,333
投資有価証券	2,640,306	2,233,623
関係会社株式	691,277	851,556
その他の関係会社有価証券	1,080,875	1,271,702
繰延税金資産	543,657	1,081,216
その他	246,201	248,889
投資その他の資産合計	5,569,251	6,047,321
固定資産合計	7,411,620	10,382,327
資産合計	21,148,037	20,006,964
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,325	552,020
1年内返済予定の長期借入金	4,497,368	2,042,292
未払金	999,459	908,817
未払費用	76,322	35,201
未払法人税等	121,590	221,799
未払消費税等	50,089	232,637
預り金	60,609	30,642
賞与引当金	55,385	67,786
その他	25,071	187,267
流動負債合計	6,207,220	4,278,464
固定負債		
長期借入金	1,208,962	416,670
資産除去債務	138,141	137,158
繰延税金負債	85	4,778
固定負債合計	1,347,189	558,607
負債合計	7,554,410	4,837,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,337,717	9,377,841
資本剰余金	3,344,766	3,385,620
利益剰余金	894,674	2,652,130
自己株式	△1,058,400	△1,058,400
株主資本合計	12,518,758	14,357,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,444	22,020
為替換算調整勘定	5,337	△162,184
その他の包括利益累計額合計	10,782	△140,164
新株予約権	256,556	232,578
非支配株主持分	807,530	720,286
純資産合計	13,593,627	15,169,892
負債純資産合計	21,148,037	20,006,964

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）	当連結会計年度 （自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）
売上高	21,257,580	19,827,695
売上原価	15,871,134	13,399,354
売上総利益	5,386,445	6,428,340
販売費及び一般管理費	6,817,135	4,202,938
営業利益又は営業損失（△）	△1,430,689	2,225,402
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,225	2,766
投資事業組合運用益	266,688	68,319
仮想通貨評価益	—	9,888
補助金収入	10,298	44,022
固定資産売却益	51,913	5,441
還付加算金	—	3,880
その他	22,714	5,743
営業外収益合計	355,841	140,062
営業外費用		
支払利息	37,560	24,557
為替差損	48,275	7,304
仮想通貨評価損	5,460	—
持分法による投資損失	490,419	193,355
その他	4,900	15,609
営業外費用合計	586,616	240,827
経常利益又は経常損失（△）	△1,661,464	2,124,637
特別利益		
投資有価証券売却益	708,826	65,315
持分変動利益	15,788	579
新株予約権戻入益	—	11,591
特別利益合計	724,615	77,485
特別損失		
減損損失	431,446	—
投資有価証券評価損	35,593	399,260
関係会社株式評価損	—	194,969
その他の関係会社有価証券評価損	—	467,122
事業構造改革費用	—	188,250
その他	4,426	3,736
特別損失合計	471,466	1,253,340
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△1,408,315	948,783
法人税、住民税及び事業税	117,711	20,579
法人税等調整額	241,552	△544,216
法人税等合計	359,263	△523,636
当期純利益又は当期純損失（△）	△1,767,579	1,472,420
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	△71,892	△285,035
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△1,695,686	1,757,456

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,767,579	1,472,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,701	16,575
為替換算調整勘定	△32,098	△155,975
持分法適用会社に対する持分相当額	3,882	△11,546
その他の包括利益合計	△10,514	△150,947
包括利益	△1,778,094	1,321,473
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,707,085	1,606,508
非支配株主に係る包括利益	△71,008	△285,035

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,076,072	3,071,685	2,590,361	△1,058,400	13,679,719
当期変動額					
新株の発行	261,645	261,645			523,290
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,695,686		△1,695,686
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		11,435			11,435
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	261,645	273,080	△1,695,686	—	△1,160,960
当期末残高	9,337,717	3,344,766	894,674	△1,058,400	12,518,758

	その他の包括利益 累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	△12,256	34,438	22,181	107,691	181,140	13,990,732
当期変動額						
新株の発行						523,290
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△1,695,686
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						11,435
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	17,701	△29,100	△11,398	148,864	626,390	763,856
当期変動額合計	17,701	△29,100	△11,398	148,864	626,390	△397,104
当期末残高	5,444	5,337	10,782	256,556	807,530	13,593,627

当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,337,717	3,344,766	894,674	△1,058,400	12,518,758
当期変動額					
新株の発行	40,124	40,124			80,248
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,757,456		1,757,456
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		730			730
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	40,124	40,854	1,757,456	—	1,838,434
当期末残高	9,377,841	3,385,620	2,652,130	△1,058,400	14,357,192

	その他の包括利益 累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	5,444	5,337	10,782	256,556	807,530	13,593,627
当期変動額						
新株の発行						80,248
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,757,456
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						730
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	16,575	△167,522	△150,947	△23,977	△87,244	△262,169
当期変動額合計	16,575	△167,522	△150,947	△23,977	△87,244	1,576,265
当期末残高	22,020	△162,184	△140,164	232,578	720,286	15,169,892

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,408,315	948,783
減価償却費	194,837	443,948
減損損失	431,446	—
株式報酬費用	149,399	58,803
のれん償却額	26,523	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△204,597	14,621
受取利息及び受取配当金	△4,225	△2,766
支払利息	37,560	24,557
為替差損益(△は益)	6,236	△20,021
補助金収入	△10,298	△44,022
持分法による投資損益(△は益)	490,419	193,355
持分変動損益(△は益)	△15,788	△579
投資事業組合運用損益(△は益)	△266,688	△68,319
仮想通貨評価損益(△は益)	5,460	△9,888
関係会社株式評価損	—	194,969
投資有価証券売却損益(△は益)	△706,208	△65,315
その他の関係会社有価証券評価損	—	467,122
投資有価証券評価損益(△は益)	35,593	399,260
事業構造改革費用	—	188,250
固定資産売却損益(△は益)	△51,913	△5,441
売上債権の増減額(△は増加)	876,051	△1,140,672
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,793	231,875
未払金の増減額(△は減少)	△53,679	△84,358
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,880	182,935
未収入金の増減額(△は増加)	△20,329	△20,948
前払費用の増減額(△は増加)	△72,126	187,834
未収消費税等の増減額(△は増加)	△134,135	251,539
その他	229,657	232,233
小計	△489,033	2,557,757
利息及び配当金の受取額	4,225	2,766
利息の支払額	△36,294	△20,603
事業構造改善費用の支払額	—	△183,831
補助金の受取額	10,298	62,870
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△661,816	238,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,172,620	2,657,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	3,333	5,491
有形固定資産の取得による支出	△78,932	△28,233
無形固定資産の取得による支出	△1,207,532	△2,912,358
有価証券の取得による支出	△299,456	—
投資有価証券の売却による収入	978,166	128,681
投資有価証券の償還による収入	3,254	3,254
投資有価証券の取得による支出	△1,169,927	△351,011
関係会社株式の取得による支出	△465,075	△173,970
その他の関係会社有価証券の取得による支出	△332,476	△425,664
関係会社株式の売却による収入	—	15,496
投資事業組合からの報酬による収入	301,662	122,619
敷金及び保証金の支払による支出	△23,895	△106
敷金及び保証金の返還による収入	35,729	7,941
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,255,148	△3,607,860

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	—
長期借入れによる収入	4,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,817,602	△3,247,368
株式の発行による収入	523,290	9,058
非支配株主からの払込みによる収入	747,527	201,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	403,215	△3,037,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,497	△77,379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,057,050	△4,064,612
現金及び現金同等物の期首残高	13,017,347	9,898,048
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△62,248	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,898,048	5,833,436

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能なものであり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、技術の発展に伴い急速に変化しつつある事業環境のもと、新たなテクノロジーを活用したエンターテインメントサービスを提供することを目指しており、「モバイルオンラインゲーム事業」「XR事業 (VR、AR、MR等)」「ブロックチェーン事業」の3つを報告セグメントとしております。「モバイルオンラインゲーム事業」においては、国内外にてスマートフォンに特化したネイティブアプリゲームの開発・運営を行っております。「XR事業 (VR、AR、MR等)」及び「ブロックチェーン事業」においては、当該技術を用いたプロダクトを開発する国内外の有力企業への投資及び投資を通じたコンテンツの配信等を行い、将来における収益基盤の構築を図っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	モバイルオンライン ゲーム事業	XR事業 (VR、AR、MR 等)	ブロックチェーン事 業	
売上高				
外部顧客への売上高	21,256,590	990	—	21,257,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	21,256,590	990	—	21,257,580
セグメント損失 (△)	△851,189	△462,510	△116,988	△1,430,689
セグメント資産	16,841,805	3,621,445	684,787	21,148,037
その他の項目				
減価償却費	193,854	983	—	194,837
のれんの償却額	26,523	—	—	26,523
減損損失	431,446	—	—	431,446
持分法適用会社への投資額	—	989,871	197,423	1,187,294
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	1,188,719	112,267	—	1,300,986

(注) 1. セグメント損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	モバイルオンライン ゲーム事業	XR事業 (VR、AR、MR 等)	ブロックチェーン事 業	
売上高				
外部顧客への売上高	19,718,500	44,381	64,812	19,827,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	19,718,500	44,381	64,812	19,827,695
セグメント利益又は損失(△)	2,783,045	△402,631	△155,011	2,225,402
セグメント資産	16,052,642	2,844,110	1,110,211	20,006,964
その他の項目				
減価償却費	443,948	—	—	443,948
のれんの償却額	—	—	—	—
減損損失	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	—	946,335	398,228	1,344,563
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	2,940,591	—	—	2,940,591

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項
(前連結会計年度)
該当事項はありません。

(当連結会計年度)
(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来「VR/AR事業」としていた報告セグメントの名称を「XR事業 (VR、AR、MR等)」に変更しております。報告セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報についても、変更後の名称で開示しております。

(報告セグメントの区分変更)

第1四半期連結会計期間において、新たに株式会社 gumi Cryptosを設立し、同社に対して当社並びに当社の連結子会社である株式会社 gumi ventures及び株式会社 gumi X Realityのブロックチェーンに係る事業を吸収分割の方法により承継したこと、及び前述の報告セグメントの名称変更に伴い、報告セグメントを従来の「モバイルオンラインゲーム事業」及び「VR/AR事業」の2区分から、「モバイルオンラインゲーム事業」、「XR事業 (VR、AR、MR等)」及び「ブロックチェーン事業」の3区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

セグメント情報として同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

セグメント情報として同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	416.04円	470.93円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額 (△)	△57.04円	58.32円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	57.66円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失金額のため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属 する当期純損失金額(△) (千円)	△1,695,686	1,757,456
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親 会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△1,695,686	1,757,456
普通株式の期中平均株式数(株)	29,728,191	30,133,166
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	344,500
(うち新株予約権(株))	(—)	(344,500)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	第11回新株予約権 新株予約権の数119個 (普通株式59,500株) 第13回新株予約権 新株予約権の数360個 (普通株式180,000株) 第18回新株予約権 新株予約権の数8,800個 (普通株式880,000株) 第19回新株予約権 新株予約権の数995個 (普通株式99,500株)

（重要な後発事象）

該当事項はありません。